日本のジュエリーを海外市場へ
継続した取り組みと協力が必要



一般社団法人日本ジュエリー協会は、「日本発のジュエリーブランドのPRを目的」に、昨年に続き、9月に香港で開催のJGW Septemberに、ジャパン・ジュエリー・コレクションパビリオンを設置し、日本のジュエリーの発信に努めた。



今回も日本からの出展社が集まるジャパンパビリオンが設置されたホール3Gのコンコースに出展。昨年とは少し場所を変え、日本初のジュエリーブランドの「つくりの良さやこだわり」「商品コンセプト」および「世界観」を明確に打ち出し、海外市場に向け「ジャパンジュエリー」を広く発信し、認知向上を図った。

出展ブランドは、㈱AbHeri（東京都）、㈱ケイ・ウノ（愛知県）、㈱カジ・インターナショナル（東京都）、㈱光・彩（山梨県）、東越貿易㈱（東京都）の5社。それぞれが自社の強みをアピールした。

初日は、JJA長堀慶太会長とInforma markets Japanのジェームス・ソバック社長が視察に訪れ、出展社の梶光夫氏とともに成功を誓った。



元より香港フェアではハイジュエリーが集まるグランドホールに出展していた経験をもつ梶氏は、香港を中心にアジアにもファンが定着している。昨年は来場しなかった梶氏だが、今年はブースに立ったことで、より多くのファンが集まり商売にも繋がっていた。



AbHeriは今年で2回目。自社ブランドの良さが伝わり商談数も増えてきている。あとはどのような展開が可能か緻密な計画が求められている。

ケイ・ウノは、子会社のキャラクタージュエリーブランド「U-TREASURE」からディズニーやポケットモンスターを紹介。世界的に人気のあるキャラクターによるジュエリーを積極的に紹介し、アジアでの展開を図った。

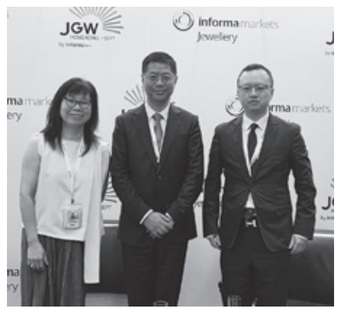


光・彩は、JJAジュエリーデザインアワードにて受賞歴のある独自の技術を駆使し、鍛造製法によるオリジナルの結婚指輪や婚約指輪、ジュエリーを紹介。日本の技術から生まれる唯一無二の輝きで魅了した。



変わりゆくアジアを中心としたジュエリーマーケットの中で、「ジャパン」をアピールしていくことに年々重要度が増していく。日本ブランドとして海外市場へ出ることで、産業としての成長にも繋がることだろう。いまはまだ大きなヴィジョンを持つ段階であり、継続して挑戦していくことが大事だ。そのためにも日頃からの協力体制を築ける環境や考え方を学ぶこと、理解することなども必要になってくることだろう。





2027年4月8日～11日
スイス・バーゼルで開催
「Basilia」誕生



世界最大級のBtoB宝飾見本市「JGW September（Jewellery & Gem World Hong Kong）」を主催するInforma marketdsは、8月のジャパンジュエリーフェア（JJF）を日本ジュエリー協会とのパートナーシップのもとに主催していることは周知のとおりだが、日本と香港以外の地域となる、台湾（11月）、タイ（5月）、インド（2月、5月、9月）、中東（10月、11月）、トルコ（4月、10月）でもジュエリー見本市を開催している。

さらに2027年には、スイス・バーゼルでの開催を発表した。開催日は4月8日～11日。名称は「Basilia Jewellery & Watch Fair」とされ、長年バーゼルワールドを主催していたMCHと共同で開催するという。欧州市場初となる開催で注目が集まるが、水面下で出展社を集めているようで具体的な内容は発表されていない。

予定としては、バーゼルの見本市会場のMesse Baselのホール2を使い、出展社数は500社を見込んでいる。その割合は、ジュエリーが50%、時計が25%、宝石が20%、パッケージ＆機械が5%となっている。見込まれる地域としては、**アジア**＝中国本土、香港、インド、日本、タイ、トルコ。**欧州**＝フランス、ドイツ、イタリア、スイス、イギリス。中東＝バーレーン、カタール、アラブ首長国連邦。**北米**＝カナダ、アメリカ。その他となっている。

CT スキャン使用
天女、花珠、鑑別書
※天女、ロイヤル天女は日本宝石科学協会で商標登録されています
日本真珠学術協会
〒110-0005 東京都台東区上野 5-22-1 東鈴ビル6F
TEL:03-3836-2507 FAX:03-3836-2689

受け継いできた美意識と技術を現代の感性で再構築した「NEW STANDARD」
ナガホリ

㈱ナガホリは、中期経営計画「Beyond Growth～成長のその先へ～」に掲げる事業ブランド「NAGAHORI」の確立に向け、新たな定番となる「NEW-STANDARD」シリーズを8月のジャパンジュエリーフェアにて発表したほか、香港フェアでも香港企業が集まるメインホールにブースを建て、存在感をアピールした。

「NEW STANDARD」は、長年にわたりNAGAHORIが培ってきた商品開発のノウハウを礎に、「定番」という価値を現代の感性でブラッシュアップしたシリーズ。時代の流れを捉える企画力、長年培ってきた技術力、そして厳選された素材。それぞれの魅力を掛け合わせ、宝石や貴金属が本来持つ美しさを最大限に引き出しながら、自社工場の熟練したクラフトマンが一つひとつ丁寧に仕立てている。





受け継がれてきたジュエリーの美意識や普遍的なデザインを大切にしながら、現代を生きる人の価値観や感性に寄り添う新たなジュエリーへ。その中心にあるのが、NAGAHORIがデザイン創作の軸として新たに掲げる、「すべてのジュエリーに、ストーリーを。」という考え方だ。

単に身を飾るものではなく、そこに込められた想いと、身に着ける人自身の人生や想いが重なり合うことで、ジュエリーはより特別な存在になる。



「NEW STANDARD」は、そんな想いから生まれた「ストーリージュエリー」のコレクション。10月初旬より、全国の取扱百貨店宝飾売場にて順次発売開始する予定となっている。

また、「NEW STANDARD」では、このほかにもNAGAHORIが培ってきた素材への知見とものづくりの技術を生かし、それぞれ異なるストーリーを持つラインを展開する。

新たなダイヤモンドの魅力と軽やかな輝きを表現する『Leggiero』。繊細で優美な伝統的装飾美を、現代の感性に似合うジュエリーとして再構築した『WEAVE』。異なる個性が互いを引き立て合う、美しいバランスをテーマにした『Tenbin』。そして、人生に刻まれる大切な瞬間をジュエリーに託すアニバーサリーライン『DIARY』など、それぞれのラインに込められたストーリーを通して、ジュエリーを「装飾品」から、「人生とともに物語を重ねていくもの」へと提案していく。

総合ジュエリーメーカーとしての強みを独自に紹介した桑山



3B203に出展し、安定の製造力と信頼の高品質で国内外のジュエリーブランドを支える独自の技術やグローバルな生産体制の強みとともに、企画・デザインから製造・販売、アフターケアまで一貫した価値提供で顧客ニーズに応えるメーカーとしての姿を披露した。





総合ジュエリーメーカーの㈱桑山は、今年もJGW Septemberの中でもハイブランドが集まるホール

SINCE 1949 LONG STANDING COMPANY
中川装身具工業株式会社

The World Jewellery Confederation
RESPONSIBLE JEWELRY COUNCIL
東京本社　〒111-0052 東京都台東区柳橋 1-29-7
御徒町・大阪・甲府・伊勢・名古屋・北上工場・筑波工場
PROVIDENCE・HONG KONG・BANGKOK・COLOMBO

新製品 ワックス3Dプリンター
ご用途に合わせて最適な機種をご提案いたします
PLEMPIRE
PL6100
大型 MJP プリンター
▶コストでお悩みの方へ
FLASHFORGE
WaxJet 51C
卓上 MJP プリンター
▶設置場所でお悩みの方へ
Solidscape
S3DUO
コンパクト 3D プリンター
▶ 少量生産にお悩みの方へ
株式会社 田邊研電
（本社）世田谷区深沢 1-9-14
（山梨）甲府市上石田 4-17-7 1F
03-3704-3044
www.tanabekenden.co.jp

